

4月17日：VN指数は売りが引き続き先行 (VN-Index -1.86%)

- 昨日は底値圏での買いが強かったにもかかわらず、本日は注意深く始まり売買は盛んではなかった。
- 前場では不動産と金融をはじめとする多くのセクターが小幅に下落した。
- 午後に政府高官の政治スキャンダルに関する噂がマーケットの下落を助長し、売り圧力が高まり始めた。
- ヘルスケアを除くすべてのセクターが下落基調を強める結果となった。
- 137銘柄が上昇、348銘柄が下落、57銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は昨日から37%下落し、19.1兆ドンであった。

VN30指数も市場全体の動きに同調 (VN-30 -1.78%)

- 大型株で構成されるVN30指数は、4銘柄が上昇し、残りの26銘柄が下落した。
- GVR (-5.60%)、BID (-4.37%)、CTG (-3.96%)が指数を大きく引き下げた。
- 一方でMSN (+1.06%)が1%以上の上昇を記録した唯一の銘柄であった。

セクター・個別株の動き

- ブルームバーグによると、MSN (+1.06%)は同社の食品・飲料部門であるMasan Consumer Holdingの上場を計画していると明かした。同社は10億ドル～15億ドルの資金調達が可能でIPOについて財務アドバイザーと協力している。市場環境が整えば2025年初に株の売り出しが行われる可能性がある。
- CTD (-3.03%)と投資事業会社であるKusto Groupがベトナムでの投資事業の開始のために戦略的協力を締結した。Kusto Groupは2024年から2028年間にCTDの協力の下で2億ドルを投資する予定だと強調した。
- 外国人投資家は9910億ドンの売り越しであった。FUEVFNND (-1.43%)、VHM (-2.11%)、SHB (-3.48%)が広く売り越された一方で、買い越された銘柄はVNM (+0.31%)、GMD (+2.68%)のみであった。



ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。